



学校教育目標

「柝の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人」

一須坂市教育大綱（基本方針）一
 幼児期から社会人までのすべての市民が、自ら学び自ら考える力を育むとともに、社会が急激に変化する予測困難な時代を生き抜く「自らの人生を主体的に切り拓く力」を育む

【目指す学校】

- ・夢やあこがれのもてる学校
- ・よさや可能性を引き出す学校
- ・笑顔とやさしさあふれる学校

令和7年度学校評価より

- ◇主体的・能動的な学校生活
- ◇自ら問いをもち、一人一人のつまずきに応じた授業づくり
- ◇学び合い、支え合う人間関係づくり
- ◇失敗や間違いから学ぶ環境づくり

【目指す子ども】

よく考え よくあろうと一歩一歩着実に歩む子ども

（五感を働かせた体験が経験に、経験を知恵に。）

よく考える子ども
【学び合い】

人やものを大切にする子ども
【響き合い】

心も体もたくましい子ども
【鍛え合い】

- ① 知りたいことを知ろうとする
 - ② 教室は間違ってもよいところ。分からないことを「分からない」と言える
 - ③ 考えたすじみちや思ったことを自分の言葉で伝える
 - ④ 一人で考えるか友達と考えるか自分で決める
- 「授業がよく分かる」児童 90%を目指す
 ○「授業では、自らの課題を設定し、自分で考える」児童 80%を目指す

- ① 毎日、元気に仲よく生活する
 - ② 人と比べない。自分らしさを大切にする
 - ③ 自分の考えも友だちの考えも大事にする
 - ④ 自分に関わる全ての人やものをかけがえないものとして大切にする
- 「学校が楽しい」児童 90%を目指す
 ○「困ったら解決策を見つけるために話し合えることができる」児童 85%を目指す

- ① 様々なことに挑戦し、失敗しても、新しい方法を考え、もう一度挑戦する
 - ② 休み時間はたくさん遊ぶ
 - ③ 安全に気をつけて生活する
 - ④ 「自分の命は自分で守る」危機管理能力を高める
- 「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦できる」児童 85%を目指す

目指す子どもの姿を実現するために（五感を育てる3つの柱）

1 授業力の向上(学力向上)

「考えることを楽しむ授業」づくり

- 1 体験を通して体全体で考える探究的な学習
 - 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る
 - 1時間の算数の授業
 - 英語学習の充実(高校生や海外の小学生との交流)
 - 臥竜公園をフィールドとした本校ならではの学習
- 2 自らの問いをもち、学び合う授業
 - 全ての子どもを同じ土俵にのせる
 - ・分からない子どもを一人ぼっちにしない授業展開
 - ・「なぜ、どうして」の問い(気づき)の連続性と自ら追究方法の選択
 - ・学び合いを通じた論理的思考力の育成
 - 聴き合う関係の構築と振り返りの中での表現の充実
- 3 つまずきに応じた学習支援
 - ・その子に合った方法を一緒に見つける支援

2 学級経営の充実(人間力向上)

「多様性を包み込む学びの環境」づくり

- 1 聴き合う関係づくり
 - コミュニケーション能力の育成
 - ・自分のおもいや考えを人前で話すことの習慣化
 - ・怒鳴らない指導と時と場に応じた丁寧な言葉遣い
 - ・「あいさつ・返事」で 結ばれ深まる人間関係
 - ・「さんづけ呼称」で 広がる受容の輪
 - ・玄関ミニコンサート
- 2 特別支援教育の充実とチーム支援
 - ・特性を生かした出番や居場所づくり
 - ・特別な支援や配慮を必要とする児童理解
- 3 折り合いをつける力の育成
 - ・共通の目的を探し出す、妥協点を見出す、粘り強い対話力の育成

3 自律と心身の健やかな成長(豊かな心・体力向上)

「失敗を恐れず挑戦できる環境」づくり

- 1 失敗や間違いから学べる環境づくり
 - 失敗を経験とし、良質でプラスの成功体験につなげる環境づくり
 - ・レジリエンス(「落ち込まない」「心が折れない」という強さではなく、その状態から再起する力)の育成
 - ・児童会の時間、遊びの時間の充実と確保
 - ・メセナホールでの音楽会
 - 園小の連携を通じた非認知能力の育成
 - ・双葉幼稚園との交流
- 2 望ましい基本的な生活習慣の育成
 - ・家庭、園小の連携
- 3 体力向上プラン
 - ・体力テストに基づいた体力向上策の実践

子どもたちが深く根を張る環境づくり(研修、家庭・地域との連携)

子どものための専門家集団を目指す職員の研究と研修

- 研究・研修:質の高い授業づくりと公開、ICT 活用、児童理解と支援、全国学力調査、総合学力調査、Q-U 検査等の分析研修等
- 子どもと向き合い、授業指導力向上に努められる環境づくり
 - ・金曜日の、5時間授業(ノ一会議)・中、高学年を中心とした教科担任制
 - ・学年副担任制(4年生以上)

家庭、地域との連携

- 【学校評価】 【安全支援】 【学習支援】 【生涯学習支援】
- 【家庭学習の充実】 【情報モラルの向上】
- 柝の木運営委員会(コミュニティースクール)
- PTA 活動、地域ボランティア、支援会議
- 参観日の終日学校開放(学校開放日)



Since 1873